様式4

社会資本総合整備計画
「上石第一地区都市再生整備計画」
フォローアップ報告書

・上石第一地区都市再生整備計画事業【平成26年度】
・上石第一地区都市再生土地区画整理事業【平成27～30年度】

令和3年3月

埼玉県熊谷市

1．数値目標の達成状況の確認（確定値）

様式4－①　都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の確定

指標		単位	従前値	目標値	事後評価				フォローアップによる確定値	計測時期	フォローアップ時点での達成度	確定値が評価値と比較して大きな差異がある場合や改善が見られない場合等		総合所見
					評価値	見込み・確定の別	目標達成度	1年以内の達成見込み				理由	改善策の方向性	
指標1	定住人口	人	549	580	593	確定 見込み ●	○	あり なし	596	H31年4月	○		□ 改善策はそのまま □ 改善策に補強が必要 □ 新たに改善策をたてる	都市基盤整備により宅地化が進み、戸建て住宅や集合住宅が新築されたため、居住者数は増加となった。
指標2	まちづくり活動参加者数	人/年	93	150	84	確定 見込み ●	×	あり なし ●	52	H31年4月	×	例年開催しているまちづくり活動（グランドゴルフ大会）の参加者数が、平成30年度は極端に少なかったため。	□ 改善策はそのまま □ 改善策に補強が必要 ■ 新たに改善策をたてる	目標値設定の前提として開催を予定していたワークショップを見送ったため、目標達成には至らなかった。
指標3						確定 見込み		あり なし		H　年　月			□ 改善策はそのまま □ 改善策に補強が必要 □ 新たに改善策をたてる	
指標4						確定 見込み		あり なし		H　年　月			□ 改善策はそのまま □ 改善策に補強が必要 □ 新たに改善策をたてる	
指標5						確定 見込み		あり なし		H　年　月			□ 改善策はそのまま □ 改善策に補強が必要 □ 新たに改善策をたてる	

事後評価シート　様式2-1及び添付様式2-①から転記　※全ての指標について記入

※フォローアップの必要のある指標について記入

※全ての指標について記入

様式4－②　その他の数値指標の確定

指標		単位	従前値	目標値	事後評価				フォローアップによる確定値	計測時期	フォローアップ時点での達成度	確定値が評価値と比較して大きな差異がある場合や改善が見られない場合等		総合所見
					評価値	見込み・確定の別	達成度	1年以内の達成見込み				理由	改善策の方向性	
その他の数値指標1	ごみゼロ運動実施回数	回/年	1		2	確定 ● 見込み				H　年　月			□ 改善策はそのまま □ 改善策に補強が必要 □ 新たに改善策をたてる	地域住民活動として定着した。
その他の数値指標2						確定 見込み				H　年　月			□ 改善策はそのまま □ 改善策に補強が必要 □ 新たに改善策をたてる	
その他の数値指標3						確定 見込み				H　年　月			□ 改善策はそのまま □ 改善策に補強が必要 □ 新たに改善策をたてる	

事後評価シート　様式2-1及び添付様式2-②から転記　※全ての指標について記入

※フォローアップの必要のある指標について記入

※全ての指標について記入

2. 今後のまちづくり方策の検証

様式4－③ 「今後のまちづくり方策」の進捗状況

事後評価シート　添付様式5－③に記載した 今後のまちづくり方策（事項）		実施した具体的な内容	実施した結果	今後の課題　その他特記事項
・成果を持続させるために 行う方策	良好な居住環境の向上、維持	土地区画整理事業により、都市基盤施設の整備を進めている。	居住環境の向上、維持に繋がった。	・引き続き土地区画整理事業を推進する。 ・整備完了した保留地を適宜売却する。
改善策 ・まちづくりの目標を達成するための改善策 ・残された課題・新たな課題への対応策 ・その他　必要な改善策	地域の交流活動の活性化	地域住民の交流の場の確保のため、用地確保ができている公園予定地の一部を、広場として利用できるようR2.12に整地を行った。	近隣住民の交流の場が確保された。	・公園の早急な整備を目指す。

事後評価シート　添付様式5－③から転記

様式4－④ フォローアップにより新たに追加が考えられる今後のまちづくり方策

追加が考えられる今後のまちづくり方策	具体的内容	実施時期	実施にあたっての課題　その他特記事項
地域の交流活動の場の確保	区画整理事業区域内で整備を予定している3か所の公園について、計画的な用地確保を行い、可能な限り早急に整備を行う。	用地確保後早急に	・用地確保計画（建物移転等）の作成。